



活汲小中リコーダーアンサンブルとソフトテニス少年団

活汲小中リコーダーとソフトテニス少年団  
努力と功績を讃え教育委員会顕彰

5月30日、教育委員会会議の席上で全国大会に出場した2組が布瀬教育委員長から顕彰を受けました。

全国大会で銀賞を獲得した活汲小学校と金賞を獲得した活汲中学校リコーダーアンサンブルを代表して山田羽亜奈さん(中学3年)が「金賞が取れてうれしかったです。今年も練習していい思い出を残したいです」と話してくれました。

第3回北海道小学校ソフトテニスインストア選手権大会で優勝と準優勝を独占したソフトテニス少年団の河野斗夢君・佐藤雪路君ペアと細川源生君・上杉昌輝君ペアを代表して河野斗夢君が「来年も全道大会で優勝し全国大会に出場したいです」と話してくれました。

ライオンズクラブより善意の寄付  
図書に役立ててください



5月30日、美幌歯科医師団津別代表の白木雅之さんが教育委員会を訪れ、293本の歯ブラシを寄贈しました。この寄贈は歯の衛生週間に合わせ、昭和54年から美幌、津別の小学1年生に、平成9年からは全小学生を対象に歯ブラシをプレゼントしています。寄贈を受けた布瀬教育委員長は「歯の大切さを知るいいきっかけになり、とてもありがたいです」とお礼を述べていました。

6月19日、津別ライオンズクラブ(近藤益夫会長)が教育委員会を訪れ、図書の充実を役立ててほしいと多額の寄付をされました。今回の寄付は第53回年次大会記念事業による奉仕事業の一環として各地区のライオンズクラブが実施しました。寄付を受けた阿部博道教育長は「ありがとうございます。大切にさせていただきます」とお礼を述べていました。

美幌歯科医師団から善意の寄付  
小学生に歯ブラシのプレゼント



「津高祭」の打ち上げ花火に多くの善意  
例年を上回る30トンの資源物を回収!



6月9日、津別高校の生徒会、ボランティア局、野球部の生徒50人が、学校祭で行われる打ち上げ花火の資金を確保するために廃品回収を行いました。  
この日は天候にも恵まれ、午前9時から各地区を回り、5台のトラックの荷台には新聞や雑誌、牛乳パックなど善意の約30トンが次々に積み込まれました。  
生徒会長の山内雄貴君は、「ご協力いただきありがとうございます。ぜひ、私たちの学校祭を楽しんでほしいと思います」とお礼を述べていました。

# topw n i c s

まちのわだい

貫田桂一シェフが津別を語る  
オーガニック牛乳販売記念で講演会

6月15日、中央公民館でオーガニック牛乳販売記念講演会(津別町有機酪農研究会主催)が行われました。講師にホテルクラブ札幌前料理長貫田桂一氏を迎え、「オーガニック牛乳で津別が輝く」をテーマに講演。貫田シェフは地産地消と産地協働が地元収入と雇用を促進すると提言しました。その後、貫田シェフを進行役に行われたミルクトークは山田照夫会長、コープさっぽろ横濱秀明北見地区本部長、網走支庁巻口公治産業振興部長が壇上に上がり、山田さんからオーガニック牛乳が有機畜産物JAS規格の認証を得るまで苦労を振り返り「牛乳パックに印刷された5人を見た時は本当にうれしかった」と話していました。



6月8日、中央公民館駐車場で建設業協会と建設業振興会による夜間防犯パトライト点灯運動の出陣式に関係者20人が参加して行われました。この活動は、空き巣対策などの防犯活動として昨年度から行われ、車輻荒らしが撲滅するなど大きな貢献を果たしました。今年も町内10カ所ですべて毎月第2・第4日曜日の午後9時から約1時間、赤色灯を点灯し目を光らせます。蓮井和一事務局長は「今年は野球場などで不審火も発生しているので防犯の抑止に努めたい」と話してくれました。



夜間パトライト運動スタート  
空き巣と不審者から地域を守る

女性の参画が地域の元気に  
自婦連20年記念講演会開催



5月31日、商工会館で自治会婦人部連絡協議会20年記念講演会が開催され、講師の矢ヶ崎紀子さんが「女性が元氣だとまちも地域も元氣になる」をテーマに講演しました。矢ヶ崎さんは「全国で頑張っている女性たちからノウハウをもらいながら小さな成功体験をつくりましょう」と参加者に訴え、農産物の加工販売物の利益で地域の子どもや高齢者たちの事業を実施する浜松市の夢未来くんまや規格外のトマトを材料にしたケチャップで年商2億円を稼ぎ出す岐阜県郡上市の株式会社明宝レディーなど各地の事例を紹介しました。

郵便局員が清掃ボランティア  
津別峠展望台の汚れを一掃



5月27日、津別峠の峠開きに合わせ、津別・本岐・相生の郵便局員8人が残雪残る展望台施設の清掃ボランティアを行いました。  
局員は、施設内の清掃、ガラス拭き、駐車場の掃除など多くの観光客が訪れる展望台をきれいにしてくれました。今年で4年連続の清掃ボランティアに関係者からは感謝の声が上がっています。藤村勝局長は「多くの観光客に津別峠からの眺めを楽しんでほしいです。津別峠の清掃は地域の方に感謝を込めて今後も続けていきたいです」と話してくれました。

戦没者を慰霊し、平和への願いを込めた「殉公者追悼式」が、6月15日、幸町の平和の碑広場で行われました。

式典には、遺族や関係者100人が参列しました。黙とうと国家斉唱後、式典委員長である佐藤多一町長より「世界の平和のため日本が積極的に役割を果たすことが皆様に報いることです」と式辞が述べられました。北海道知事や北海道連合遺族会会長らによる慰霊の辞が述べられた後、参列者によって175柱の殉公者に献花が行われました。

この日は小雨交じりの肌寒い中、参列者は平和の尊さを思い、静かに祈りを捧げていました。



殉公者追悼式に100人が参列  
平和の尊さを思い、祈りを捧げる